

モニタリング結果報告書

施設 愛名やまゆり園
指定管理者 社会福祉法人かながわ共同会
施設所管課 障害サービス課

(平成 23 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

<判定理由>

県の求める質の施設福祉サービスの提供に努力し、研修や地域サービス実施についても積極的に行っている。工事による利用者減はあったものの、スムーズに寮の閉鎖と再開を行うなど、良好な管理運営状況である。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月9日		○	×	×	なし	
11月	12月9日		○	×	×	なし	
12月	1月6日		○	×	×	なし	
1月	2月10日		○	×	×	なし	
2月	3月7日		○	×	×	なし	
3月	4月9日		○	×	×	なし	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載してください。

<提案内容の概要>

1. 重度重複障害者支援の特色ある施設運営を目指す。
2. 加齢に伴い一般の人に比較して早期にかつ急激に進む身体機能、精神機能及び生活機能の低下に対する予防と介助量の増大に対して、より安心、安全な生活を支援する。
3. 行動障害の著しい重度知的障害者に対して、安定的なプログラムを提供して、当該行動の軽減を図る。
4. 障害の重い入所者の地域生活移行への取組みと、在宅障害者支援のバックアップ施設として、あるいは、待ちの姿勢ではなく地域に積極的に進出する相談活動を行い、地域支援機能の充実を図る。

<実施状況>

- 1 意思確認が難しい利用者の思いを汲み取る工夫をし、その意思を反映した個別支援計画を策定するよう心がけた。
- 2 平成 24 年 4 月からの介護士等による喀痰吸引等医療的行為実施に向けての準備として、指導看護師養成研修へ看護師 6 名が参加し、対象利用者 8 名に対して研修は支援員 23 名実施、18 名が認定従事者として県へ登録した。
- 3 強度行動障害への支援技術向上のための TEACCH 研修を年間 3 回実施。中井やまゆり園主催の事例検討会に 4 回参加し、利用者個々の特性に合わせたプログラムを作成し、支援を実施した。
- 4 重度障害者の地域生活移行について毎月 1 回プロジェクトで検討した。「厚木市、愛川町、清川村自立支援協議会」に参画した。また、県立自立支援協議会への助言、障害保健福祉圏域の自立支援協議会の調整機能を担った。また、NPO 法人のケアホーム開設準備に関する相談を年 12 回行った。発達に遅れが見られる児童の派遣相談を行った。

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	1,044,594 (982,108)	391,882 (426,820)	520,342 (521,232)	132,370 (34,050)	1,013,639 (970,580)	30,955 (11,528)
下半年 予算額	558,513	180,708	263,908 (264,433)	113,897	612,997	54,484
10 月	77,316	29,505	44,550 (46,184)	3,261	64,895	12,421
11 月	169,639	29,505	43,178 (44,160)	96,955	145,601	24,038
12 月	113,228	66,862	43,407 (44,774)	2,959	104,281	8,947
1 月	76,425	29,505	43,276 (44,431)	3,644	68,043	8,382
2 月	55,936	12,674	41,239 (39,960)	2,023	60,796	△4,860
3 月	60,047	12,657	45,528 (44,923)	1,862	178,473	△118,426
今年度 半期計	552,591	180,708	261,179	110,707	622,089	△69,498
前年度 同期計	496,353	215,010	264,434	16,909	560,462	△64,109

- ② 今年度半期収支差額/今年度半期収入額＝ $\Delta 0.125 \times 100 = \Delta 12.5\% > \Delta 10\%$
- ③ 今年度半期収入-前年度半期収入/前年度半期収入 $\times 100 = 11.330 = 11.33\% < 30\%$
- ③ 今年度半期支出-前年度半期支出/前年度半期支出 $\times 100 = 10.995 = 10.99\% < 30\%$

- 1 指定管理者の収入を記載してください（県の収入である「使用料」は含みません。）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載してください。

収支状況に関する意見等

- ① 年間予算額における収支差額が 0 でない場合は、その理由を記載してください。
- ② 今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の 1 割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載してください。また、収支差額に 1 割以上プラスが生じた主な理由が人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載してください。
- ③ 今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比 30%以上プラス又はマイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載してください。

<意見等>

- ① 備品・建物の老朽化に伴う更新を踏まえて予備費として計上している。
- ② 指定管理変更契約に基づく収入の減少。また建物老朽による体育館の屋根補修工事等の支出があったため収支差額が1割以上となっている。

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

管理施設の修繕において、計画修繕工事・各所営繕工事等に係る費用については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載してください。
- 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載してください。
- 修繕等の一覧がある場合は、参考にご提供くださるようお願いします。

	金額	工事箇所・内容
上半期	0	
下半期	48,196,050	スプリンクラー消火設備設置工事等
総額	48,196,050	スプリンクラー消火設備設置工事等

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	移行時積立金取崩収入(施設入所)	94,000
支出の状況	積立金支出(施設入所)	94,000
	積立金支出(施設入所)	15,000
	修繕積立金支出(生活介護)	20,000
	備品等積立金支出(生活介護)	23,000
	積立金支出(診療所)	5,000
	車両購入(生活介護)	3,893
	体育館屋根修理(生活介護)	300
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載してください。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載してください。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載してください。

5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	87人	94人	-7.4%
11月	87人	94人	-7.4%
12月	88人	93人	-5.4%
1月	88人	93人	-5.4%
2月	88人	93人	-5.4%
3月	93人	93人	%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	720人	530人	573人	△35.8%	△8.1%
今年度下半期計	720人	531人	560人	△35.5%	△5.4%

利用状況に関する意見等

- ① 今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載してください（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載してください。）。
- ② 目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載してください。
なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ませんが、次回以降は記入してください。

<意見等>

- ② 23年度は居住棟スプリンクラー工事に伴い、生活寮1ヶ所を閉鎖している。それに伴う利用者異動のため、利用者数が減少している。

6 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
下半期報告						
合計	()	2 (0)	()	()	()	2 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

園周辺の草刈を行ったところ近隣より騒音に対する苦情。事前にお知らせをした上で行っているが、苦情が寄せられた。対応としては、機械での草刈は取りやめ、手作業に切り替えた。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・草刈作業の騒音について	手作業に変更
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・利用料の過請求について	調査の結果、過請求はなかった。
	・	
	・	
その他	・	
	・	

8 事故や不祥事等の発生状況

特になし

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
月 日			
月 日			
月 日			

9 随時モニタリングの実施状況

〔 なし 〕

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 下半期の所見等

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居住棟1階のスプリンクラー工事が無事終了し、1寮閉鎖していた寮を平成24年度は再開した。 ・ 利用者の加齢に伴い介護度が高くなり、医療的ケアも必要となってきた。平成24年4月より新たな制度がスタートするに当たり、職員研修、県への申請等準備を進めた。 ・ 地域生活支援のための短期入所の希望が年々多くなってきている。しかし、個室対応が必要な利用者が多く、設備面で中々応えられない。少しでも希望に応えられように利用調整している。 ・ 障害保健福祉圏域自立支援協議会の調整役として、相談支援事業の体制整備に努めた。
施設所管課	<p>スプリンクラー工事があったため、1寮閉鎖分の利用実績が低下していた。利用者数の回復に向けては、利用者の介護度の上昇やハード面等の課題があると考えられるが、努力を続けてもらわなければならない。</p> <p>また、利用者の医療的ケアの必要度が高まる中、介護職員の医療ケアの研修制度が始まるのを見据えて、職員の研修を積極的に実施したことは評価できる。</p> <p>その他、自立支援協議会のとりまとめ役等を担い、地域福祉の向上に向けて積極的に活躍をしており、地域への視野も持って、県立施設としてその役割を十分に果たしている。</p>